

中学部 第1学年 国語科「今に生きる言葉」学習指導案

単元の目標	- 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。【知識・技能】 - 文章を読んで、理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。【思考・判断・表現】 - 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで音読をし、日本と中国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。【主体的に学習に取り組む態度】
○日本語支援 ●多文化共生の視点	○クイズの作成を通して、故事の由来や日本と中国のつながり、価値観の違いなどについて比較し、自分の考えの幅を広げるとともに、漢文、故事成語への理解を深められるようにする。 ○自分の考えを「クイズ」という形で表すことで、表現することの楽しさや古典の世界の奥深さを味わうとともに、漢文や故事成語が自分たちにとって関わり深い存在であり、これからの生き方や考え方の支えとなることに気付くことができるようにする。 ●多文化共生の中で生きる力として、批判的思考力の深化を図るために、授業の開始前と後に行う振り返りシートを活用することで、課題に対して立ち止まって考える場を設定する。 ●故事成語クイズを作成する中で、中国の故事と自分の生活のつながりについて理解することや友達と互いのクイズの良さを認め合うことで寛容性が深まるよう指導する。

単元の指導と評価の計画

時間	学習活動	評価規準
1	・「矛盾」を読み、「漢文」のきまりや「故事成語」について理解する。	・音読に必要な文語のきまり、漢文独特のリズムや言い回しなどについて理解している。(観察)【知・技】
2	・「推敲」「蛇足」「四面楚歌」などの故事成語について、言葉の意味や基となった故事を調べる。	・積極的に故事成語を調べようとしている。(観察)【態】 ・故事成語の意味を理解している。(観察・ロイロノート)【知・技】
3 本時	・故事クイズの問題を作る。	・故事成語を読み、理解したことに基づいて、クイズを作ろうとしている。(観察・ロイロノート)【態】 ・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで音読をし、日本と中国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。(観察)【思・判・表】
4	・故事クイズを行う。	
5	・「漢文を読む」を読み、漢文の読み方を確認する。	・漢文の読み方やきまりを理解している。(観察・ロイロノート)【知・技】

本時の学習

(1) ねらい

故事成語を読み、理解したことに基づいて、クイズを作ることができる。 【思考・判断・表現】

(2) 準備 電子黒板・ロイロノート・教科書・国語便覧・辞書・振り返りカード

(3) 展開 (☆多文化共生の視点)

学習活動と内容	指導上の留意点	評価基準(方法)
1 前時の確認をする。	☆教師のコメントを読み、それに返事を書くことで、自分の考えをよりの確に表現できるようにする。(批判的思考力、日本語指導) ・前時の学習を基にクイズを作成することを伝え、本時の学習内容に見通しをもたせる。	・教師のコメントを的確に受け止め、適切に返事を書くことができる。(振り返りシート) 【学びに向かう力、人間性】
2 本時の課題を解決する。 言い換えてみよう!「故事成語クイズ」		

3 「レ点の歌」を歌う。 4 故事成語クイズを作成する。 (1)教師の例題を解く。 (2)クイズを作る。 (3)グループで問題を確認し、推敲を行う。 5 本時の振り返りを行う。 普段何気なく使っている言葉が中国と深い関係があることを知り驚いた。このことから、日本人の考えは、昔の中国の人の考えを参考にしているのだと思った。	・ 返り点についての歌を歌い、漢文に親しむとともに学習意欲を高める。 ・ 例題を解くことで、クイズの構成について理解できるようにする。 ・ クイズが作れないでいる生徒には、教師と選んだ故事成語の意味や由来を確認するとともに、教科書の例文を参考にすることで、クイズが作れるように支援する。 ・ 推敲では、クイズの文章と故事成語の意味が正しいか、問題文はわかりやすい文章になっているかに着目してより良い文章になるよう読むよう伝える。 ☆故事成語クイズづくりを通して、日本と中国のつながりに気づき、多様な見方がもてるようにする。 (寛容性) ☆故事成語を通して感じた日本と中国のつながりについて振り返りシートにまとめるよう伝える。 (批判的思考力)	・ 今までの学習を生かして故事成語を使ったクイズを作ろうとしている。 (観察・ロイロノート) 【学びに向かう力、人間性】 ・ 選んだ故事成語について、文章を読んで理解したことを踏まえ、クイズにまとめている。(ロイロノート)【読むこと(1)オ】 ・ 日本と中国のかかわりについて触れて本時の振り返りを行っている。 (振り返りシート) 【学びに向かう力、人間性】
---	--	---

考察

(成果)

「クイズ」作りという生徒にとって親しみのある学習活動を設定したことで、意欲的にクイズづくりに取り組んでいた。クイズづくりを通して生徒は、中国の故事と自分の生活のつながりについても理解を深めることができた。多文化共生の視点からも、友達と互いのクイズの良さを認め合い、助言しあうことで寛容性を深めるとともに、振り返りシートへの記入を通して自分の学習を立ち止まって考えることができた。

(課題)

その一方で、意見の取捨選択が難しく、すべてを取り入れようとして、自分の文章の良さが薄れてしまったり、友達からの意見を素直に聞くことができなかったりした生徒もいた。今後は、国語科だけではなく、道徳や総合的な学習の時間、そして学校生活の場を使って、意見を述べ合う場の設定だけでなく、意見の「伝え方」や「聞き方」についても示していきたい。

